

■ 法人の皆さまへのサービス

中堅・中小企業との取引強化に向けて

三井住友銀行では事業承継ニーズの高まり等、中堅・中小企業のお客さまの法個一体となったお取引ニーズへの対応を強化するため、平成26年4月に「エリア」を設立しました。エリアでは法人・個人一体でのご相談受付に加えて、SMFG・SMBCグループ各社のネットワークを活かした専門的なサービスのご提供が可能な体制となっています。事業資金のご融資に加え、海外事業展開やビジネスマッチング、事業承継、社内制度改革等のご相談、個人の資産運用やご融資、相続、資産承継等のご相談等、幅広いお客さまのニーズに対してSMFG・SMBCグループ各社できめ細かくサポートしていきます。

三井住友銀行では今後も引き続き、日本経済を支える中堅・中小企業のお客さまおよびそのオーナーさまの多様なニーズにお応えできるよう取り組んでいきます。

創業・新規事業開拓、成長企業への支援

三井住友銀行では、成長企業のお客さまを支援する専門部署を本部内に設置しており、SMBCベンチャーキャピタルやSMBC日興証券等と連携し、成長企業向けの投融資、株式公開支援、大企業とのアライアンス支援等、お客さまの成長ステージに合わせたソリューションを提供していきます。

成長企業のお客さま向け融資の強化を目的に取り扱いを開始した「成長性評価融資」では、クラウド・コンピューティングやリサイクル関連等の企業へ融資を行いました。また、テクノロジー系ベンチャー企業を創業期から支援することを目的に、平成24年4月に設立したNECグループとの共同ベンチャーファンドでは、次世代通信やライフサイエンス関連等のベンチャー企業へ投資を行いました。その他、平成25年7月に投資したSMBCアグリファンドを通じてアグリベンチャー企業への投資を行う等、三井住友銀行は、グループ会社に加え、さまざまな外部機関と連携しながら成長企業の支援に努めていきます。

株式公開支援(IPOナビゲーター)

更に、株式公開を検討しているお客さまに対し継続的かつ総合的な支援を可能とすべく、三井住友銀行とSMBC日興証券は、会員制無料情報提供サービス「IPOナビゲーター」を平成22年7月より共同運営しています。提携先のアドバイザー企業10社、協賛企業1社からも協力をいた

だくことでIPOに必要な情報をワンストップでご提供できるプラットフォームとなっており、平成26年9月末現在、約900社のお客さまにご入会いただいています。また、平成23年2月より定期的に開催している「IPOセミナー」では、新規株式公開を実現された企業の経営者に講演をいただくなど、株式公開を目指すお客さまに好評をいただいています。

平成26年度は東京、大阪、名古屋の3都市でセミナーを開催し、SMBC日興証券が主幹事を務め株式公開されたCYBERDYNE株式会社の山海社長、株式会社エンバイオ・ホールディングスの西村社長(共に平成26年3月東証マザーズ上場)にご講演いただき、大変盛況なものとなりました。

引き続き、三井住友銀行とSMBC日興証券は株式公開志向を持つお客さまを支援していきます。



環境・リスク対応・食の安全等、企業ニーズに対応したソリューション開発

三井住友銀行では、省資源・省エネルギーや地球温暖化等の環境問題への対応や、自然災害発生時の対策、食の安全性確保等、さまざまな社会的課題に取り組むお客さまに対するソリューションの開発を行っています。

平成18年に、環境マネジメント認証を取得している中小企業向けの「SMBC-ECOローン」の取り扱いを開始し、その後、日本総合研究所がお客さまの環境配慮への取り組みを格付し、格付に応じた融資条件の設定を行う「SMBC環境配慮評価融資/私募債」を開発しました。

以後、同様の仕組みを派生させ、「SMBCサステイナ

ブルビルディング評価融資/私募債)や、「SMBC食・農評価融資/私募債」、「SMBC事業継続評価融資/私募債」、「SMBCサステナビリティ評価融資/私募債」など、お客さまの社会的課題への取り組み推進にお役立ていただけるよう、評価融資制度を拡充しています。

今後もこのようなソリューションの開発を通じ、お客さまの更なる発展をサポートしていきます。



金融円滑化への取り組み

基本方針

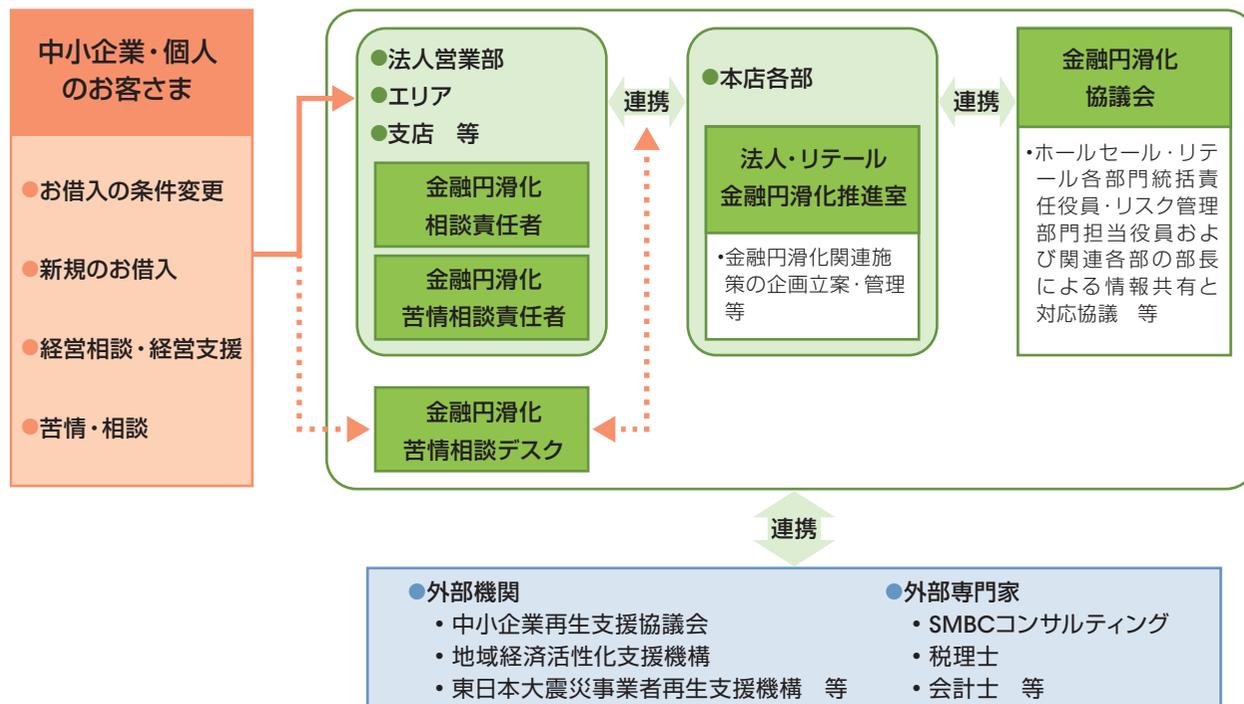
三井住友銀行は「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、真摯かつ丁寧な顧客対応、円滑な資金供給、コンサルティング機能の発揮に努めていきます。

《金融円滑化に関する基本方針》

- ①新規融資・貸付条件変更等のお申し込みに対する適切な審査を実施します
- ②お客さまに対する経営相談・経営指導及びお客さまの経営改善に向けた取り組みに対する支援を適切に実施します
- ③お客さまの事業価値を適切に見極めるための能力向上に努めます
- ④新規融資・貸付条件変更等のご相談・お申し込みに対してお客さまへの説明を適切かつ十分に実施します
- ⑤新規融資・貸付条件変更等のご相談・お申し込みに対するお客さまからのお問合せ、ご相談要望及び苦情に適切かつ十分に対応します
- ⑥貸付条件変更等のお申し込みや、第三者機関等を通じた各種お申し出等に当たっては、関係する他の金融機関等がある場合には緊密な連携を図ります
- ⑦「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、経営者保証に関して適切に対応します

態勢整備

三井住友銀行では、営業店と本部が一体となってコンサルティング機能の発揮に取り組んでいきます。



経営改善・事業再生・業種転換等の支援

三井住友銀行では、中小企業金融円滑化法終了後も円滑な金融仲介機能の発揮に一層努めるとともに、お客さまが抱える経営課題にも目を向け、それぞれの経営課題やライフステージに応じた最適な解決策をお客さまの立場に立って提案させていただき、十分な時間をかけて実行支援するなど、コンサルティング機能の一層の発揮に努めていきます。

具体的には、お客さまの資金調達や経営課題解決のニーズにお応えするために、各種ローン商品を豊富に取り揃えているほか、後述の業務斡旋や海外進出、事業承継サポート(12ページの「事業承継・資産承継サポート」をご参照)といった各種ソリューションをご用意しています。また、外部専門家*1や外部機関*2等とも適宜連携しつつ、経営改善計画の策定サポートや経費節減・資産売却等の経営改善アドバイス等を通じて、お客さまの経営改善や事業再生等を支援してまいります。

*1 SMBCコンサルティング、税理士、会計士等

*2 中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構等

特に、東日本大震災により被災されたお客さまに関しては、いわゆる二重債務問題の解決に向け、東日本大震災事業者再生支援機構や産業復興機構とも連携し、最適なソリューションの提案・実行支援を行ってまいります。

業務斡旋への取り組み

三井住友銀行の「業務斡旋」は、個別にお客さま同士をご紹介するほか、多数のお客さまを大企業の購買窓口等に集中的にご紹介する「一括マッチング」、テーマを限定し多数のお客さま同士を紹介する「商談会」の開催*等、お客さまのニーズに合う新しいビジネスパートナーの紹介に努めています。

※平成25年12月に農業をテーマとする「アグリビジネスマッチング」を開催しました。

グローバル化を背景に、新たな海外マーケットへの販路拡大や新興国を中心とした仕入先の拡大、新たなパートナーとの連携等多様なニーズがますます高まっています。

三井住友銀行ではこうしたグローバルな業務斡旋ニーズに対応すべく、平成24年より海外非日系企業とのビジネスマッチング「グローバル業務斡旋」を開始し、海外非日系企業との業務斡旋を通じてお客さまの海外事業展開のサポート、およびソリューションの提供を行っています。

現在はアジアの一部地域での取り組みとなっていますが、お客さまの幅広いニーズに対応すべく台湾/工業技術研究院との連携をはじめとする対象国の拡大を進めてお

り、SMFGの内外ネットワークを活用したグローバルな業務斡旋を通じてお客さまを支援してまいります。

キャリア教育支援

平成23年4月の大学設置基準の改定を受け、各大学において、「職業指導(キャリア教育)」の充実が図られていく中、三井住友銀行は「大学のキャリア教育の充実ニーズ」と、「お客さまの産学連携ニーズ」の橋渡しに力を入れています。具体的には、各大学とキャリア教育支援で連携し、三井住友銀行のお客さまに講師となつていただくかたちでの授業の開講をお手伝いしています。例えば、お客さまから「新商品開発等のマーケティング」に関する課題が提示され、学生と企業担当者がその解決に向けた提案を共同で考える課題解決型授業や、お客さまが業界動向や事業内容についてレクチャーする授業です。

参画企業との実践的な学びを通じて、学生は社会への関心を高め、「発信力・傾聴力等のチームで働く力」「課題発見力・創造力等の考え抜く力」など社会で求められる能力を鍛える一方で、お客さまからは、CSRの取り組み強化に加え、学生ならではの斬新な発想・アイデアが新たなビジネスチャンスのヒントになる、とのお声をいただいています。

今後も、業種の枠を越えた連携のご支援を通じ、お客さまの事業の発展に貢献してまいります。

海外進出への支援

お客さまの海外に対する関心が高まっています。中、三井住友銀行では、グローバル・アドバイザリー部が、世界経済概況等の情報提供や各国の金融経済情勢、日系企業の進出動向等に関する各種セミナー開催に加え、実際に海外へ進出を検討しているお客さまには、現地市場調査・業界情報や各種法規制等についてきめ細かな情報提供を行っています。

また、既にグローバルに事業展開をされているお客さまに対しては、事業拡大や再編等のニーズに対して、質の高いサポートやソリューションの提供を行っています。更に、貿易取引に関する各種アドバイスや実務セミナーを通じてお客さまの外国為替取引全般に対するサポートも実施しています。



グレーターチャイナ地域における取り組み

三井住友銀行では、日系企業の進出数が多いグレーターチャイナ地域において、国内で培ったノウハウを活用し、内外拠点一体のきめ細かなサービスの提供ができるよう、平成22年度に三井住友銀行(中国)有限公司、平成23年度に香港・台北支店の日系企業取引の企画・推進を国内部門で担当し、体制整備等を進めています。

中国では、平成25年9月に中国(上海)自由貿易試験区が設立され、金融・貿易等の分野で自由化が進められています。三井住友銀行(中国)有限公司は、平成26年2月に同試験区内に出張所を開設し、クロスボーダーの資金管理や規制緩和業種の新規投資サポート等、お客さまの新たなニーズに取り組んでいます。

また、平成26年2月には江蘇省昆山市にも出張所を開設しました。これにより、中国大陸の拠点数は、上海本店をはじめ、9支店、6出張所と、三井住友銀行の大連駐在員事務所を合わせた16拠点となり、香港・台北支店と合わせ、ますます充実したネットワークを築いています。また、国際化が進む人民元ビジネスについては、トランザクション・ビジネス本部、香港に設置している華南ビジネス推進室を中心に取り組んでおり、取り扱い実績も着実に積み上がっています。今後も、国内外でタイムリーな情報・サービスの提供を行い、人民元ビジネスの推進に注力していきます。

引き続き三井住友銀行は、三井住友ファイナンス&リース、SMBC日興証券、三井住友カード等、グレーターチャイナ地域に進出しているSMFGのグループ会社とも連携し、国内外一体で更なるサービスの向上に努めていきます。

地域の活性化への取り組み

地方自治体や地域金融機関との取り組み

経済環境の変化に伴い、地方自治体および地域金融機関が果たすべき役割も多様化し、地域の産業振興や地元企業の海外進出支援に対する期待がますます高まっています。地方自治体・地域金融機関にとっても、海外を含めた幅広いネットワークと正確でタイムリーな情報収集が必要になっています。SMFGでは、このようなニーズに対して、国内外のネットワークを利用した各種サービスの提供を行う等、地方自治体・地域金融機関との連携に取り組んでいます。

医療関連産業の集積を図る神戸市などにおいては、地域の産業振興に構想段階から積極的に関与しています。

産業振興に関する協力協定を締結している宮城県をはじ

めとして、東日本大震災で被害を受けた地方自治体に対しても、各県が掲げる復興計画に応じて復興を金融面から支援すべく、引き続き活動を行っているほか、復興特区制度を活用するお客さまのお取引を通じて被災地域の経済振興をサポートしています。

また、平成22年以降、みなと銀行、関西アーバン銀行、三重銀行ほか7行と海外事業支援に関する業務提携を締結しています。

Topics

◆日本政策金融公庫と成長企業支援に関する業務連携

平成26年7月、三井住友銀行と株式会社日本政策金融公庫中小企業事業(以下、日本公庫)は、相互に連携して成長企業を支援するため、業務連携に関する覚書を締結しました。

今後、三井住友銀行の「法人戦略部成長事業グループ」と日本公庫の「新事業室」を中心に、企業の双方向の顧客紹介や協調融資等、イノベーションに挑戦する成長企業に対する支援について相互に連携していきます。

本取り組みを通じ、新産業創出による経済の新陳代謝を促進し、日本経済活性化に貢献していきます。

◆日本成長戦略

クロス・ファンクショナル・チーム

三井住友銀行は、5年後、10年後の日本を支えていく「産業」を金融ビジネスを通じて支援し日本経済の成長に貢献する目的で、平成26年4月に組織横断チームとして「日本成長戦略クロス・ファンクショナル・チーム(CFT)」を立ち上げました。

本CFTでは、行内・グループ内の成長分野に関する情報や知見を集約し、部門やグループ会社の壁を越えて企画立案し、案件化・エグゼキューションまで対応することで、お客さまのビジネスを金融面と経営面から具体的に支援していきます。当面は、政府の日本再興戦略が対象としている農業・ヘルスケア・エネルギー・インフラなどを重点分野としてサポートしています。

三井住友銀行では、本CFTの活動を通じてお客さまの成長と日本経済の発展に貢献すると共に、「成長分野に強いSMFG・SMBC」のブランドづくりを加速していきます。